

CASBEE-建築(新築)2016年版

京都府宇治警察署

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質					3.7
Q1 室内環境			0.40	-	3.4
1 音環境		3.6	0.15	-	3.6
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	
1.2 遮音		4.2	0.40	-	
1 開口部遮音性能	サッシュ遮音等級T-2	5.0	0.60	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		4.0	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		4.0	0.20	-	
1.3 吸音	天井:ロックウール系吸音天井材 床:タイルカーペット	4.0	0.20	-	
2 温熱環境		3.0	0.35	-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	
1 室温		3.0	0.38	-	
2 外皮性能		3.0	0.25	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	
3 光・視環境		3.6	0.25	-	3.6
3.1 屋光利用		4.2	0.30	-	
1 屋光率	屋光率2.52%	5.0	0.60	-	
2 方位別開口		3.0	0.40	-	
3 屋光利用設備		4.0	0.30	-	
3.2 グレア対策		4.0	1.00	-	
1 屋光制御	ブラインドに庇を組み合わせてグレアを制御	4.0	0.15	-	
3.3 照度		3.0	0.25	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	
4 空気環境		3.9	0.25	-	3.9
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料を90%以上に採用	4.0	1.00	-	
4.2 換気		3.6	0.30	-	
1 換気量	居室について30m ³ /h人以上確保。	4.0	0.33	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	-	
3 取り入れ外気への配慮	外気取入れ口は各種排気口より6m以上離れた位置に設置。	4.0	0.33	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	
2 喫煙の制御	建物内全館禁煙	5.0	0.50	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	3.8
1 機能性		3.6	0.40	-	3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.3	0.40	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33	-	
2 高度情報通信設備対応	2方向より通信引込み可能。屋上にも通信用アンテナ設置スペース有。	4.0	0.33	-	
3 パリアフリー計画		3.0	0.33	-	
1.2 心理性・快適性		3.6	0.30	-	
1 広さ感・景観	執務室の天井高さ2.7m以上	4.0	0.33	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	
3 内装計画	来庁者等の供用空間に天然素材等を使用し、間接照明を設置。	4.0	0.33	-	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い仕上げ等を採用	4.0	0.50	-	
2 維持管理用機能の確保	洗い場の設置、各トイレに清掃用流しの設置、適切な照度の設定等	4.0	0.50	-	
2 耐用性・信頼性		4.1	0.30	-	4.1
2.1 耐震・免震・制震・制振		4.6	0.50	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	建築基準法に定められた50%増の耐震性を有する	5.0	0.80	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:タイルカーペット等、壁:ビニルクロス貼、天井:ロックウール系吸音材	5.0	0.10	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	
2.4 信頼性		4.6	0.20	-	
1 空調・換気設備	電源自立型GHP、G回路対応EHPを重要諸室に採用。	5.0	0.20	-	
2 給排水・衛生設備	受水槽、排水貯留槽は災害時7日間給排水が途絶えない容量。	5.0	0.20	-	
3 電気設備	本線・予備電源(異変電所)にて受電。電源車接続、非常用発電機有。	5.0	0.20	-	
4 機械・配管支持方法	建築設備耐震設計・施工指針2014年版による。	5.0	0.20	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	

3 対応性・更新性			3.7	0.30		-	3.7
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30		-	
1 階高のゆとり		階高3.9m以上	5.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率=0.12	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.6	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性		メインルートにはケーブルラックを設置し、配線ルートを確保。	5.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性		メインルートにはケーブルラックを設置し、配線ルートを確保。	5.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性		主要設備機器の更新に対応した仮設スペースの設置が可能。	4.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	3.9
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		まちなみ、景観に配慮した計画	5.0	0.40		-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30		-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域性に配慮した計画	5.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.8	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用		建物外周部に設けた連窓による採光及び通風の確保	4.0	0.10		-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.81	2.9	0.50		-	2.9
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
集合住宅の評価						-	
4.1 モニタリング						-	
4.2 運用管理体制						-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.8
1 水資源保護			3.8	0.20		-	3.8
1.1 節水		節音、節水型衛生器具の使用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無		井水利用	4.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60		-	3.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床シート(廊下)、ビニル床タイル(廊下)、内装床タイル(便所)	5.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げの分別及びOAフロアの採用	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.9	0.20		-	3.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用		ビニル床シート、タイル、フローリングの接着剤及び建具塗料	5.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50		-	
3 冷媒		新冷媒種(R410AまたはR32)の使用。	4.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.1
1 地球温暖化への配慮			3.5	0.33		-	3.5
2 地域環境への配慮			2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 污水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		駐輪場及び駐車場の確保。管理車と施設利用車動線の分離	4.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.3	0.33		-	3.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	0.33		-	
2 振動			3.0	0.33		-	
3 悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制			3.0	-		-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.7	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			5.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		ガラス前面にルーバーを設置	4.0	0.30		-	